



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆

希望 創造 潤い

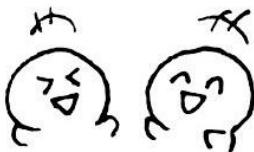
昭島市立福島中学校

令和7年11月5日 NO.7

042-541-2940

創立46年目(昭和55年開校)

よりよい関わりを考えよう



校長 前川 法彦

先日、合唱コンクールが終わり、福島中学校の二大行事が終わりました。とても素晴らしい合唱祭だったと思います。歌を聴いて迫力がありました、ぐつときましたと話してくださる方いました。皆さん、「仲間とひとつのものをつくりあげた」「心を込めてがんばれた」という誇りと自信をもつことはできたのではないでしょうか。

さて、東京都教育委員会では11月をふれあい月間としています。クラスでも友達との距離が縮まり、気を遣うことが減るかもしれません。過去の出来事を参考に、もう一度友達との関わり方を考えてみましょう。

ある学校で、友だちが座ろうとした人の椅子をふざけて引いたために、大きなケガになってしまったことを次のように話しています。「この日から私の人生はガラッと変わった。椅子に座ろうとした時に、後ろにいた人がふざけて私の椅子を引いた。床にお尻から突き上げるように落ちた。その瞬間、背中と腰に異常な激痛が走った。」

病院へ救急搬送されて、医師から手術を勧められたが、その選択は辛いものでした。彼は、NBA選手と対戦した経験があり、プロを目指すほど実力のあるバスケットボール選手で、代表選手としての大会が迫っていました。このままではバスケ人生が終わってしまうかもしれませんと覚悟を決めて手術をしました。しかし、目が覚めると「お腹から下の感覚が全くなくて、上半身しかない体みたいな感じですごいショックを受けた。走って跳んでというのが当たり前の生活だったのに、いきなり座ることもできなくなり、信じられない」と話していました。

彼は、下半身がマヒしてしまったのです。椅子を引く。ちょっととしたいたずらだったかもしれない行為が、プロバスケットボール選手を目指すほどの実力をもっていた彼に、下半身まひという取り返しのつかない大きな障害を負わせてしまいました。

関わり方を間違えてしまうと、「いたずら」や「悪ふざけ」などでは済まされない、人生を狂わせる大きな事態になってしまいます。いじめもどんな理由があってもしてはいけないことです。お互いが自分の生活や行動を振り返りながら、よりよい方向に進むような思いやりのある行動ができるようになります。

【11月の主な行事予定】

4	火	ふれあい月間（始～28日） 3年三者面談（始～11日）3年⑥カット	18	火	期末考査2日目
5	水	1年稻刈り⑤⑥・2年福祉体験⑤⑥ 3年⑤⑥カット	19	水	期末考査3日目・避難訓練
6	木	3年⑥カット	20	木	委員会⑥カット
7	金	1・2年復習確認テスト②～⑥ 3年⑥カット	21	金	中央委員会・英検IBA1年④2年③④
9	日	開校記念日	23	日	3年ESAT-J
11	火	3年⑤カット	24	月	振替休日
12	水	全校朝礼・安全指導・1年脱穀 2年福祉体験⑤⑥	25	火	生徒会朝会
17	月	期末考査1日目	26	水	職員会議⑥カット